

【別紙】令和元年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立東中学校)

(A4判横)

学校教育目標	○よく考える生徒○心豊かな生徒○心身ともに逞しい生徒○勤労・奉仕の心をもつ生徒
目指す学校像	(1) 夢と希望を育む地域に信頼される学校 (2) 明るい挨拶と正しい言葉遣いの行き交う学校 (3) 清掃の行き届いたきれいな学校 (4) いじめのない、不登校生徒のいない学校 (5) 学校行事や部活動による活動を大切にする学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	4名
事務局 (教職員)	2名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 ( 令 和 2 年 2 月 1 4 日 現 在 )		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい姿勢で授業に取り組む生徒の姿が恒常的になってきた。また、各学年が情報を共有しながら組織的に教育活動に取り組むことができています。今後は、これらを一層活用し、さらなる学校の発展を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇落ち着いた潤いのある学校としてさらに発展させていく。</li> <li>□教職員が高い理想を求め、教育活動に取り組める組織をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇現状に甘んじず、小さな変化を見逃すことなく教育活動を行う。</li> <li>□働き方改革を具体的に進め、教職員の負担感を減らし、常に情報共有できる風通しの良い職場にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇落ち着いた環境の中で、授業をはじめとする様々な教育活動が展開されている。</li> <li>□若手教員の活気とベテラン教員の経験がうまく融合した組織となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状に満足せず、常に上を目指して教育環境を整えていく。</li> <li>・教職員の過剰労働は喫緊の課題である。保護者や地域に向けても理解を求めていく必要がある。</li> </ul>
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学力学習状況調査では、学力の伸び率が県平均を超えるか、または県平均と同等であった。また、アシスタントティーチャの活用によって、学習に取り組む意欲が持てるようになった生徒が複数いた。学力向上、不登校対策を一層強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇基礎基本を確実に定着させ学力を向上させる。</li> <li>□支援を要する生徒への手厚い指導を充実させ、不登校生徒を減少させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇新学習指導要領を見据え、新しい時代に対応できる授業実践を行う。</li> <li>□補習や取り出し授業、ステップルームの活用を通して定着の遅れを回復させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ICTを活用した授業が増加し、見通しと振り返りを大切に授業が実践されている。</li> <li>□教育相談部と相談員、カウンセラーの連携の強化で、不登校生徒数を昨年度よりも減少させることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の確実な定着は恒久的課題であり、今後も引き続き重点目標とする。</li> <li>・不登校生徒数は昨年度に比べ減少したものの、引き続き高い水準で推移している。さらには削減を目指す。</li> </ul>
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを利用し、教育活動を積極的に発信したところアクセス数も増加し、保護者からも高い評価を得た。また、地域の行事において、中学校としての存在感を十分に示した。今後は、地域で活躍できる生徒の育成を目指していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇学校の情報を適時に迅速かつ正確さを持って発信する。</li> <li>□地域の中学校としてリーダーシップの発揮できる学校にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ホームページ、保護者緊急メールを活用し、学校の様子を逐次発信するとともに緊急連絡の正確性を高める。</li> <li>□小中の連携を一層深める。また、地域で活躍できる生徒を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ホームページに加え保護者緊急メールの活用にも積極的に力を入れた。迅速かつ正確な情報提供ができた。</li> <li>□新郷地区校長連絡協議会を定期的に開催し、地区全体としての小中連携を深めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページは、安定的な情報提供が求められる。担当を校務分掌に位置づけ、偏りのない情報提供を進める。</li> <li>・新郷地区として地域で子どもたちを育てる視点を持っていくことが重要である。</li> </ul>
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修等を通して、若手教員を中心とした指導力の向上を図ることができた。また、生徒、保護者の学校評価において、プラス評価の教値が向上している。教育公務員としての高い自覚を持ち、より質の高い教育活動を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇教育のプロとして専門性を高め指導力を向上させる。</li> <li>□保護者や地域から信頼される教職員集団を形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇常に自己研鑽に努めるとともに、互いに磨き合える環境を整える。</li> <li>□服務管理を徹底し、校内研修を通して教育公務員としての意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇教科ごとに学習指導案の検討を行い研究授業へ結びつけることによって、指導法の共有ができた。</li> <li>□保護者からの学校評価では、全体としてプラス項目80%以上の高い評価を受けることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導は生徒指導を含めた全ての教育活動の基本であることを再確認していく。</li> <li>・数字に満足することなく、いただいた苦言や要望にこそ、学校改善のヒントがあることを認識する。</li> </ul>
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設、設備の不備が原因となる学校事故を防ぐことができた。施設・設備の老朽化が進んでいることから、定期的な安全点検を確実に実施し、安全・安心に活動できる教育環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇生徒が安全・安心に活動できる教育環境を整える。</li> <li>□改善すべきは改善し、総合的に教育環境の整った学校にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇定期安全点検を確実に実施し、危険箇所、破損箇所の早期改善を行う。</li> <li>□教育委員会との連携、協力を密にしながら改善をすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇定期安全点検を通して指摘された箇所の改善を早期に進めることができた。</li> <li>□長期にわたる劣化に伴う補修箇所は、予算の関係から教育委員会と連携のもと実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が避難所となった場合の安全対策も視野に入れた改善を進めて行く必要がある。</li> <li>・短期的、長期的視点に立って、教育委員会と連携を図りながら、施設改善を進めて行く。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日 令和2年2月20日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・書初め大会の講師として、年々生徒たちの態度が良くなっていることに感動している。いただいた、お礼の手紙もしっかりと書いている。	・地域、保護者、学校がしっかりと分担して、子どもを育てていくことが大切。学校任せで、先生方の負担が増えているようでは、先生方のモチベーションも上がらない。
・学力に課題のある生徒への手厚い指導は引き続きお願いしたい。勉強が分かれば不登校も減ると考える。	・家庭が困窮し、登校指導が困難な家庭は、学校だけでなく地域や関係機関との連携が大切。最近、家庭状況の格差が広がっているように感じられる。
・ホームページは、我が子が在籍してなくても、学校の様子が分かっていることがたい。アクセス数も多く学校は積極的に情報発信をしていると思う。	・学力問題、不登校問題は小学校の時に芽が出ているケースが多いので、小学校と中学校の連携は、とても大切だと感じる。新郷地区の子は新郷地区全体で育てたい。
・校内巡視等を通して、若手教員を中心とした指導力の向上を図ることができた。また、生徒、保護者の学校評価において、プラス評価の教値が向上している。教育公務員としての高い自覚を持ち、より質の高い教育活動を目指す。	・校内巡視の際、授業を拝見して生徒たちがしっかりと取り組んでいる様子が分かる。先生方も自信をもって引き続き指導していただきたい。
・安全対策は、生徒だけでなく、我が子を学校に送り出している保護者にとっても重要なことである。安全で安心できる学校環境を引き続き維持していただきたい。	・老朽化対策は伝統校ならではの課題であるが、生徒が気持ちよく過ごせる学校であってほしい。また、避難所としての視点は、今後重要になってくると思う。